

プレスリリース

2011年9月5日

報道各位

書籍スキャン事業者への質問書送付のご報告

私たち、下記の作家と出版社は、本日、連名にて約 100 社の書籍のスキャン事業者に、添付の質問書を発送いたしましたのでご報告します。

電子書籍元年といわれた昨年頃より、所蔵する書籍（文芸書・実用書・コミックス）を裁断・スキャンして自ら電子化する、いわゆる「自炊」が流行していることはご存知の通りです。これにあわせて、ユーザーから書籍の送付を受けるなどして有料にて裁断・スキャンし、電子データを提供する、スキャン事業者が急速に増加しています。出版不況と言われるなか、昨年初頭には数社に過ぎなかったものが、現在は把握できるだけでも約 100 社に及ぶとされます（<http://www.bookfire.net/> 調べ）。

もとより、私たちはビジネスとしての電子書籍の可能性やユーザーにとっての利便性は十分認識しており、今後も、発売される電子書籍のラインナップの充実をはかって行く予定です。

こうした電子書籍と異なり、現状のスキャン事業には次のような懸念があると言わざるを得ません。

- ①ユーザー自身が個人的な目的で書籍をスキャンする「自炊」は、著作権法上の「私的複製」として認められていますが（著作権法 30 条 1 項）、専門業者による（まして大規模な）その代行は私的複製では到底許されません（別紙参照）。
- ②この点、多くの事業者は、サイト上で「著作権者の許可を得た書籍のみ発注を受け付ける」「発注された書籍は著作権者の許可を得たものとみなす」などの定めをおいていますが、現実には下記作家はそんな許諾を与えたことはありません。
- ③1 年足らずの短期間で膨大な数の事業者が参入したことから、スキャン事業者は、作品を生み出した関係者のあずかり知らないところで、創意と工夫の結実である出版物のスキャンにより相当額の収益を上げていると考えられます。
- ④しかも、事業者の中には裁断済みの書籍を利用者に返還する者も少なくなく、現に、専門サイト（<http://www.saidanbon.com/>、<http://www.everbook.jp/>）が出現したり、ネットオークションで数トン単位の裁断本が一度に出品されるなど、裁断本は相当量が市場で流通しています。現状は、「紙の本が消えてデータに変わるだけ」と言うことはできません。
- ⑤ネット上でのコミックスや文芸書のファイル交換・海賊版被害は、国内外を通じて跡を絶たないのが現実です*。正規版と違い著作権保護技術を施さない電子データが大量に発生しては、そうした「私的使用」を超えた電子データの流出・流用のおそれが高まります。

⑥同じく、現在のスキャン事業者による提供の形では、社内イントラネットへの電子データのアップなど、（私的複製といいがたい）企業・法人での無断利用が助長されてしまいます。

*2011年5月の日本書籍出版協会によるアンケート調査では、書籍スキャン経験者（18歳・高校卒業以上）の約6%が電子ファイルのネットへのアップロード、約28%が電子ファイルの家族以外の第三者への交付をおこなっており、スキャンデータが私的使用を超えて流出している状況が明らかになりました。同時におこなわれたネット上の流通実態調査では、P2Pネットワークから検出された膨大なファイルの総数に対して、コミックス・小説のコピーが10%強と高い比率を占めることも指摘されています。

書籍・雑誌・新聞の市場が年々縮小するなか、ネット化・デジタル化によって広がった可能性を生かすため、出版界でも努力を続けています。無許諾で収益還元のない書籍のスキャン事業がこのまま既成事実化して更に爆発的に広がり、著作権保護技術の施されていない電子データが大量に出回った場合、作家・出版社への影響は深刻と言わざるを得ません。

このままでは、作家・出版社が書籍の収益から、更なる新たな創作をおこなっていくという「創造のサイクル」が害されてしまいます。

昨年6月の「デジタル・ネットワーク社会における出版物の利活用の推進に関する懇談会」（いわゆる三省デジ懇）の報告でも言及されたように、関係者への適正な還元を含む創造サイクルの仕組みをまずは整えるべきです。私たちは、現状での事業者による無断・無償でのスキャンを認めることはできません。

以上

あいだ夏波
青山剛昌
浅田次郎
阿刀田高
いくえみ綾
石川雅之
石持浅海
五木寛之
江國香織
大沢在昌
奥浩哉
角田光代
上条明峰
岸本斉史
北川夕夏
京極夏彦
黒井千次

愛本みずほ
赤川次郎
浅田弘幸
荒木飛呂彦
池野恋
石田衣良
伊集院静
内田康夫
大暮維人
小川洋子
奥泉光
桂正和
川上弘美
北方謙三
北見けんいち
桐野夏生
小池真理子

青木琴美
秋本治
あさのあつこ
安藤なつみ
池山田剛
石塚真一
一条ゆかり
浦沢直樹
逢坂剛
荻原浩
甲斐谷忍
神尾葉子
かわぐちかいじ
北川みゆき
樹林伸
くらもちふさこ
香月日輪

小山宙哉
桜小路かのこ
椎名軽穂
白石一文
タアモ
筒井康隆
永井豪
楡周平
畑健二郎
はやみねかおる
平岩弓枝
福井晴敏
藤島康介
蒼田哲也
増田こうすけ
三田紀房
水波風南
宮城谷昌光
本宮ひろ志
森田まさのり
やまさき十三
山本文緒
夢枕獏
若木民喜

角川書店
集英社
文藝春秋

さいとう・たかを
里中満智子
重松清
清野静流
高橋源一郎
津山ちなみ
西炯子
乃木坂太郎
葉月かなえ
春田なな
弘兼憲史
フクシマハルカ
藤田宜永
槇村さとり
松本ひで吉
道尾秀介
南勝久
宮本輝
森絵都
森村誠一
山原義人
唯川恵
米沢りか
渡辺淳一

講談社
小学館

坂上弘
猿渡哲也
篠田節子
宗田理
ちばてつや
冬目景
西村京太郎
馳星周
林真理子
東野圭吾
深見じゅん
藤子不二雄[Ⓐ]
武論尊
真島ヒロ
松本零士
皆川亮二
宮城理子
村山由佳
森川ジョージ
森本梢子
山本一力
弓月光
六花チヨ

光文社
新潮社